



— 目次 — Contents

- 2 高梁に移り住む
- 6 平成26年度財政事情を公表します
- 8 行政情報 / 臨時給付金が支給されます
- 13 功績をたたえて / 地域おこし協力隊がゆく
- 14 暮らしの情報 / 子育て支援情報
- 18 暮らしの情報 / 生活支援情報
- 20 情報プラス / 市長室からこんにちは
- 24 検診情報・ヘルシーレシピ
- 25 イベント情報
- 26 成羽病院通信・学園だより
- 27 図書館だより
- 28 市民のページ
- 30 まちの出来事
- 32 イベント情報 / ちょっとひとこと

— 表紙 — Cover

5月26日、川上町地頭の畑で、川上こども園の園児が民生委員児童委員の皆さんから苗の植え方を教わりながら、丁寧に植えました。わらを敷いた後、「大きくなってね」と願いを込め水やりをしていました。

— 人口 — Population

	人口・世帯数 (人・世帯)	前月比 (人・世帯)
総人口	32,687	-13
男性	15,630	+15
女性	17,057	-28
世帯数	14,769	-97

(平成27年5月末現在・外国人含む)

高梁に移り住む。

市は、空き家・空き農地の有効活用による定住促進を図るため、「空き家・空き農地情報バンク」制度を県内でいち早く、平成19年4月から運営しています。

この制度は、市内で空き家や空き農地を所有し、提供(売買・賃借)を希望する人の情報と、市内へ定住したいという意思を持って物件の利用や購入を希望する人の情報を登録して蓄積し、双方に必要な情報を提供する制度です。

6月5日現在、76件の空き家登録があり、うち53件の成約(入居)がありました。特に賃貸物件については、90%程度の高い成約率となっており、古民家

に人気が集まる傾向にあります。空き家バンク利用者は、平成23年以前では関西圏を中心に定年退職前後の田舎暮らし希望者が中心で



☎ 定住対策課 21・0282



備中宇治彩りの山里
住むか暮らすか
牧野義廣さん(60)

「住むか暮らすか」を住民有志により結成したのは平成22年、その後体制を整備して、平成25年に今の組織になった。

宇治は早い時期から移住者が入ってきた地域。そんな中、「田舎暮らしをたくて宇治に移住してきた人がいる」ということで最初の話し合いを持ち、情報交換をしているうちに、そういう人が増えそうだといいこととなり、移住を支援する組織を立ち上げた。

最近では移住の相談が増え、

じっくり取り組む時間が足りないなど課題も多いが、これまで「失敗したなあ」ということはない。そうならないように気を使っているからね。

宇治を守りたい。地域が荒廃しないように、これからも移住者を増やしたい。

しかし、それだけでなく、新しい人たちが入ってくることで、新しい何かが生まれるようであってほしい。地元の人々の意識が変わっていくことにも期待している。

やっぱり、移り住んできたなら、その地域での人付き合いはしてほしい。

そのうえで、地域を守るための意識、宇治の将来を担うという心意気を持ってくれたら、うれしいね。こちら全力でサポートするから。



ぬのかわ
布川正幸さん(32)
ちほる
千春さん(30)

平成26年4月に栃木県から宇治町へ移住

宇治の人たちは、移住者に対する考え方も柔軟だと感じました

以前から田舎生活への憧れはありましたが、大きなきっかけは東日本大震災。特に福島県での原発事故でした。水や食べ物への不安から、安心して生活できる場所への移住を考えました。

関西や四国、中国地方の他の地域も調べましたが、宇治の人たちは、とても親切、丁

☑ したが、東日本大震災以降、関東圏を中心に移住先として岡山県の人気が急速に高まっています。本市も「住みたい田舎ベストランキング(田舎暮らしの本2015年2月号)」で全国16位になるなど、移住先としての注目が高まっており、都市部からの若い世代の移住が増加しています。

しかしながら、空き家の問合せ件数に対して、空き家バンクの登録物件数は、まだまだ足りていないのが現状です。

また、市では、空き家所有者個々からの申し出を待つだけでなく、地域において地域内の空き家物件の掘り起しに取り組んだり、移住者を選んで受け入れ、地域への溶け込みまでサポート(移住希望者に対する相談・空き家の紹介から、空き家の家財整理や引っ越しのお手伝い、就農研修支援等)していく体制づくりを支援しています。

寧ろきちんと説明をしてくれましたし、移住者に対する考え方も柔軟だと感じて、この地への移住を決めました。

落ち着いた生活、ゆったりとした時間の流れや、温かい人付き合いといった、田舎暮らしに対して持っていたイメージをそのまま実現できていると思います。

家の庭から見ると景色は、天然林の山々が連なっていて、季節の移り変わりを常に感じることもできます。

景色も良いですが、人間関係はもっと素晴らしくて、見守られている感があります。

自然のなかで、自然とともに、楽しく生活していきたい

仕事はコーヒー豆の焙煎と販売です。なるべく早く仕事を安定させて、そして、楽しく生活していきたいです。

困っていること…、そうそう、ここで暮らし始めてから、草や竹が伸びるスピードが早いことに驚きました。梅

雨の時期の湿気など、自然に悩まされることはありません。市への要望ですか？ そうです。もし田舎暮らしの完全な素人が移住してきたら、田舎の日常生活で必要なこと、例えば草刈りの仕方とかを簡単に相談できる係の人がいてくれたらいいかもしれません。

それと、まちづくりでは、古いものを大切にしてほしいです。古くて良いものにはニーズがあると思います。

不安は、必然的に解消されていきます

田舎暮らし、楽しいですよ。移住にはいろいろな不安がありますが、それらは必然的に解消されていきます。

宇治

